

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【土合小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査では、国語から主に3～5年生において『言葉の特徴や使い方に関する事項』で課題が見られた。そこで、「正しい漢字の使い方」「主語と述語の関係」を重点的に取り組んでいきたい。算数では、3～5年生において『数と計算』に課題が見られた。そこで、「四則計算」を重点的に取り組んでいきたい。
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査では、国語から主に3・4年生において『書くこと』で課題が見られた。そこで、「常体と敬体に注意して書く」「表現の仕方に着目する」を重点的に取り組んでいきたい。算数では、4・5年生において『データの活用』に課題が見られた。そこで、「データやグラフを用いた説明」を重点的に取り組んでいきたい。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査では、「分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合は87.4%という結果となった。そこで、来年度も肯定的な回答の割合が0.1pt以上向上させられるよう主体的に学習に取り組む態度の育成に取り組んでいきたい。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査の国語『言葉の特徴や使い方に関する事項』、算数『図形』の領域において、R4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より0.1pt以上向上させる。	⇒ 国語では、「正しい漢字の使い方」「主語と述語の関係」に重点を置き、反復学習するためのノートやドリル・ワーク等ICTの活用、登場人物の行動や心情が読み取れるような学習プリントを活用する。算数では、「図形の定義・構成の理解」に重点を置き、具体物操作やデジタル教材を活用する。
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査の国語『書くこと』、算数『図形』の領域において、R4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より0.1pt以上向上させる。	⇒ 国語では、「常体と敬体に注意して書く」「表現の仕方に着目する」に重点を置き、文章を書く際の留意点指導や言葉の意味調べ等とおした語彙の獲得を図る。算数では、「図形を完成させるために必要な事柄を説明する」に重点を置き、図形をイメージできるように具体物操作やデジタル教材を活用する。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査「分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を0.1pt以上向上させる。	⇒ 学びのポイント「じ・しゃく」の実践をととして児童が自分の課題や学習したい事柄を自己決定する機会を増やし、主体的に学習に取り組む態度を養う。

<小6・中3>(4月～5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査では、目標に設定した国語『言葉の使い方や使い方に関する事項』において、R4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より-1.4pt下降という結果だった。算数は目標に設定した『図形』において、+2.4pt上昇という結果だった。国語は目標が達成できなかったが、算数は目標を達成することができた。	B
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査では、目標に設定した国語『書くこと』において、R4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より+17.7ptと大幅上昇という結果だった。算数は目標に設定した『図形』において、+2.4pt上昇という結果だった。国語、算数ともに目標を達成することができた。	A
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査「分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問項目において、R4年度さいたま市学習状況調査の自校結果より5.6ptと大幅上昇という結果だった。このことから、目標を達成することができた。	A

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、国語・算数ともに全国平均を上回る結果となった。R4年度全国学力・学習状況調査の自校結果と比較すると、国語+1.2pt、算数-2.2ptであった。今回の結果から、国語では、「(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項」で日常よく使われる敬語を理解しているかという問題に対し、誤答や無解答が見られた。算数では、「B 図形」で台形や正三角形の意味や性質を理解しているかという問題に対し、誤答が多かった。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」においても、国語・算数ともに全国平均を上回る結果となった。R4年度全国学力・学習状況調査の自校結果と比較すると、国語-0.4pt、算数-2.9ptであった。今回の結果から、国語では「A 話すこと・聞くこと」で自分が聞きたいことの内容を捉えることができるかという問題に対し、誤答や無解答が見られた。算数では、「C 変化と関係」で比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかという問題に対し、誤答が多かった。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合は94.1%で、全国平均を上回る結果となった。R4年度全国学力・学習状況調査の自校結果と比較すると、+10.1%と上回る結果となった。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より国語-6.8pt、算数-0.9ptであった。国語では、『言葉の使い方や使い方に関する事項』の主語と述語の関係、算数では、『図形』に課題がみられた。「思考・判断・表現」において、国語-7.6pt、算数-0.4ptであった。国語では、『言葉の使い方や使い方に関する事項』の常体と敬体に注意しながら書く内容に、算数では、『測定』に課題がみられた。教科への興味関心についての肯定的な回答は、国語が74.3%だったが、算数・社会・理科の3教科がすべて80%以上と高い傾向がみられた。	小4	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より国語-7.5pt、算数+4.5ptであった。国語では3年生同様、主語と述語の関係や内容に、算数では、『数と計算』に課題がみられた。「思考・判断・表現」において、国語-1.9pt、算数-6.5ptであった。国語では、『書くこと』に、算数では、『データの活用』に課題がみられた。教科への興味関心については、国語約72%と昨年度の3年生との経年比較で差異がなかったが、算数は約14%の下降がみられた。
小5	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より国語-2.1pt、算数-2.4ptであった。国語では3・4年生同様、主語と述語の関係や内容に、算数では4年生同様、『データの活用』に課題がみられた。「思考・判断・表現」において、国語-5.0pt、算数-3.6ptであった。国語では、ほぼすべての問題において市の平均を上回る結果であった。算数では、『図形』の内容に課題がみられた。教科への興味関心については、国語約65%と昨年度の4年生との経年比較で差異がなかったが、算数は約5%の下降がみられた。	小6	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より国語+1.7pt、算数+0.7ptであった。国語では『言葉の使い方や使い方に関する事項』の敬語の使い方、算数では『数と計算』に課題がみられた。「思考・判断・表現」において、国語+11.5pt、算数-1.6ptであった。国語ではすべての、算数においてもほぼすべての問題において市の平均を上回る結果であった。教科への興味関心については、昨年度の5年生との経年比較で国語約4%、算数約1%の上昇がみられた。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし